

05. 特別支援学級（中学校）

熊本市立桜木中学校

教諭 宮川 千穂

（平成4年度採用）



現在の担任、担当、校務分掌等

現在、自閉症・情緒障害特別支援学級を担当しています。個性や感性が豊かな子どもたちが、「この教室では自分を出せる」「ここに戻ってくればほっとする」と思えるような学級づくりを目指しています。校務分掌は、特別支援教育コーディネーターを担当しています。先生方が、特別支援教育のことについて気軽に相談ができるよう、心で通じ合えるコミュニケーションを大切にしています。また、学校外の相談機関や関係機関ともスムーズに連携できるよう、定期的または必要に応じて情報交換を行いながら、すべての子どもたちに合った最善の支援が提案できるようにしています。

特別支援学級担任の魅力

私は、教師と生徒という関係性だけではなく、人対人として生徒や保護者と同じ目線で悩み、考え、喜びを共有することで、生徒とともに成長できているように思います。また、個性豊かで純粋な子どもたちが日々成長していく姿を目の当たりにできることに、大きな喜びを感じています。



私の失敗談(失敗から学んだこと)

生徒が同じことを何度聞いてきても、その度に丁寧に説明しているつもりだったのですが、忙しくて自分に余裕がなくなってくると、つい言葉も表情も厳しくなっていました。その様子を見ていた主任の先生から「自分が楽しいときは生徒も楽しいと思うよ。」と助言され、まずは指導者として自分の心の持ち方が一番の支援や指導であると学びました。

私の働き方改革 work life valance

私の初任時代は、先生一人ひとりの業務も多く、放課後や休日にも部活動があって本当に忙しい日々でした。しかし、現在の学校は働き方改革が推進され、ここ数年で学校での勤務状況が大きく変わりました。最近では、学校閉庁日や部活動休業日なども定着しており、2人の子育てをしている私にとっても負担感が軽減され、安心して仕事と家庭の両立ができ、気分的にもリフレッシュしながら頑張れるようになりました。

熊本市立学校教員を志願する方へのメッセージ

子どもたちの気持ちに寄り添い、将来を想像しながら、自立に向けての支援に携われる「先生」という職業に大きなやりがいと喜びを感じています。志願される皆さん、子どもたちの笑顔のために全力で向き合える教師を目指し、子どもたちの夢と一緒に膨らませていきましょう。

※この掲載内容は、令和4年1月時点の内容です。

